



★スクールロイヤーによる授業★

11月6日（月）の1時間目、2時間目を使って、1年生が高知県のスクールロイヤーをお招きして、いじめの未然防止対策の授業を行いました。昨年度から取り組み始めた事業で、2・3年生も昨年度に行っています。

今年度も弁護士の先生より、法的側面からいじめ加害者に対する法的な責任や、いじめを受けていると感じている生徒がどのように対処すれば良いかなどを中心とした予防授業を行いました。

生徒の感想より（一部抜粋）

本物の弁護士さんと話す機会は滅多にないので貴重な経験ができて良かったです。いじめについての話をして、私が一番いじめで怖いと思うことは、孤独になることだと思います。だから、いじめている人を注意して、いじめられている人の心の支えになれるといいと思います。自分がもしいじめられる側になったとしても、一旦立ち止まって、自分のしていることは本当に正しいのか、見たいいいと思います。鷹ヶ池中学校ではいじめとかは聞かないけど、高知県内ではいじめによる死者がとても多いということなので、高知県から、いや、全国からいじめを無くすために頑張りたいと思います。いじめというものは本当に大変なものなので、いじめを軽く見ないでほしいです。

自分はスクールロイヤーの授業を受けて特に SNS の扱いには気をつけたほうがいいのかなと思いました。SNS での会話だと相手の顔も見えないしグループラインだと入っていて既読をつけてしまおうとうも無いのに傍観者として見られてしまうのが難しいなと思いました。SNS 以外でもどこからがいじめなのかははっきりと決まっていなくて、冗談のつもりでやっている気でいても第三者から見たとき冗談として捉えられないこともあるのかなと思いました。改めて SNS でもそれ以外でも気をつけていきたいと思いました。

僕はスクールロイヤーの授業をして、どこまでしたらいじめというラインを知ることができました。そもそもいじめということも普段あまり深く考えたことがなかったのはいじめとはなにか知ることができました。また、スマホのトラブルは、先生や誰も知ることができないから実際いじめを受けている人しかわからないのですごく怖いしエスカレートしやすいことがわかりました。いじめをラインで書いた人もちょっとした悪ふざけでかいたのがいじめを受けた人からしたらすごく辛かったり、自殺や学校に来なかったりしたり取り返しのつかないことになります。いじめを受けた人で苦しんだり、自殺や学校に来なかったりしたのを体験した人は、ほんとにかわいそうだと思います。僕はまだ、スマホを持っていないけど、これから持つことになると思うのでそのときは、グループラインに気をつけてルールを守って安全にスマホを使いたいです。

高知県はいじめの発見件数が多いことをきいてすごいショックだったけど、逆にちゃんとそのいじめが見つかって対処されているんだということにほんの少しだけ安心しました。いじめが発見されていないだけで、いじめが多い県があるかもしれないので、発見されているだけまだいいと思いました。

★第76回高知県中学校英語弁論大会★

11月11日（土）に行われた第76回高知県中学校英語弁論大会において、本校生徒が1年生弁論部門で3位に入賞しました。おめでとうございます。

★清掃ボランティア★

11月15日(水)に校外ボランティア活動として後免駅周辺の清掃活動を行いました。

例年は、生活交通委員会を中心に行っていましたが、今年度は全校に参加を呼びかけたところ、48名もの参加がありました。落ち葉の掃除を中心に、約30分間の清掃活動で、後免駅周辺がとてもきれいになりました。参加してくれたみなさん、ありがとうございました。



★魅力ある学校づくり中間発表★



鳶ヶ池中学校は、令和2・3年度に「学校活性化安定化事業」、令和4年度には「魅力ある学校づくり調査研究事業」の指定を受けて取り組みを進めてきました。そして今年度から令和7年度まで、南国市が受けた「子どもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業」(以下、新事業)の拠点校として、後免野田小学校、長岡小学校とともに連携をとりながら取り組みを進めていくことになっています。新事業としては初年度ですが、これまで受けた事業を含めた現状を見てもらい、アドバイスを受けて今後の取り組みにいかすため、11月17日(金)に中間発表と銘打って授業を公開しました。

大阪成蹊短期大学の中野教授をはじめ、高知県教育委員会、南国市教育委員会、南国市の魅力担当者、県下の魅力推進リーダー、そして校区の保小高の先生方、90名ほどの先生が来校し、生徒の授業の様子を見てくださいました。小学校の先生方からは、「教え子の成長した姿を見られて嬉しかった!」「中学生になってすごく頑張っちゃった!」などたくさん褒めていただきました。特に3年生の学級会の様子は、「中学校でもこんな学級会ができるんですね(中学生になると人前で自分の意見を言うことをためらう傾向が強いなか、自分の意見を言い、またそれをきちんと聞いて受け入れる雰囲気できていたそうです!)」、「3年生のクラスを愛する本気度が伝わりました」など嬉しい言葉をいただきました。生徒のみなさんが日々目的意識をもって、先生方と一緒に前向きに学校生活を送っている成果を認めていただけました。

全体会でも、生徒会執行部の代表が自分たちの取り組みを堂々と発表し、鳶ヶ池中学校の魅力を自分の言葉で参加された先生方に伝えてくれました。とても立派でした!ありがとうございました。

